ケーススタディ ~ Change the world ~

ICT環境整備と ICTを活用した授業改善・業務改善

こうの やすかつ 県立長生高等学校校長 河野 安勝



本校は、国のスーパーサイエンスハイスクール SSH 指定校で、外国語(英語)と総合的な探究の時間の教育課程実践検証協力校である。理数科は理数探究で、普通科は総合的な探究の時間で、全ての生徒が3年間課題研究や探究活動に取り組んでいる。通常の授業でも「探究的な学び」を実現し、探究活動を進める上で重要な「協働的な学び」を展開している。この「探究的な学び」や「協働的な学び」を実践するためにはICT はマストアイテムと考えている。本校は学校組織体制を整え、ICT環境整備とICT を活用した授業改善、そして業務改善に取り組んでいる。

1 学校組織体制の整備

(1)企画推進部

ICT環境整備とICTを活用した授業改善・業務改善を推進している。既存の組織体制のままでは大きな改革は難しいため、令和3年度に新たに設置した。ICTの活用に意欲が高い若手職員5名で構成している。クラウド利用の規程を整え、生徒の端末をBYODネットワークに接続し、学習支援ソフトのTeamsやClass Notebookの活用方法などの教員研修を実施している。

(2)情報部

成績処理システムの運用や入学者選抜の成績処理などを担っている。教務や進路に関する生徒情報と、職員の1人1台端末やプロジェクター等の管理を行っている。

(3)進路指導部

Classiやスタディサプリを活用して進路指導に取り組んでいる。Classiで進路希望調査や進路面接の結果を収集して職員間で共有している。また、スタディサプリの到達度テストを実施して、各生徒の基礎力を確認し、苦手分野を克服するための動画を配信している。

(4)アクティブラーニングワーキンググループ

本校の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の研究チームである。若手職員11名と校長で構成し、ICTを活用した授業改善を推進している。各教科の特色や生徒の実態に合わせたICTの活用方法を研究開発し、実践資料集にまとめるとともに、開発した授業実践の普及を図っている。

(5)ICT 支援員(学校 DX 推進パートナー)

週1日来校し、企画推進部の指示の下、生徒の端末をBYODネットワークに接続したり、 採点ソフトの活用方法に関する教員研修会を 実施したりしている。

2 ICT環境整備の状況

令和3年度の1年生からBYODを開始し、現在3学年全ての生徒が私物のiPadなどタブレットを持参して授業を受けている。県から配付された貸出用コンピュータは、経済的な理由ではなく、保護者の教育方針で貸し出しを申し出た2年生1名のみが使用している。

Wi-Fi環境は、普通教室と図書室など一部の特別教室は県がBYOD用に整備した。 残りの特別教室は、保護者負担でホームルー

ケーススタディ ~Change the world~

ターを5台設置し、使用頻度の低い場所(例 えば、体育館や実験室、調理室等)には貸出 用のホームルーター5台を用意している。

全ての普通教室と特別教室にプロジェクターとスクリーンを設置し、電子黒板6台とタブレット43台、可動式の机・椅子を設置したアクティブラーニングルームを整備している。

3 ICTを活用した授業改善の状況

全ての生徒が、タブレットをノート代わり にデジタルペンで入力し、ICTを文房具とし て活用している。



教員は授業中にTeams (@csi.ed.jp) を使用して、生徒に情報伝達するとともに、課題を配信・回収している。生徒はClass Notebookをノートとして活用し、コラボレーションスペースでクラス全員の意見を集約し、共有している。

また、1・2年生は、スタディサプリの到達度テストを年2回実施して、各自の苦手な単元等を明らかにし、自宅等でスタディサプリの動画を視聴して学習している。部活動を引退した3年生は、スタディサプリの動画で基礎力を向上させてから、受験勉強に取り組んでいる。

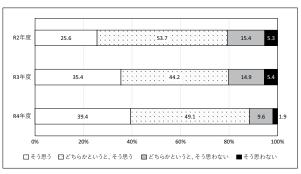
4 ICTを活用した業務改善の状況

教員間の情報共有、情報伝達はTeamsを使っているが別のアカウント(@chiba-c.ed.jp)で行っている。生徒のアカウントと分けることで、誤送信を防ぎ、情報を整理しやすくしている。朝会や職員会議の資料は、エクセルシートで集約してPDF化し、Teamsで配付している。その他にも、特別教室の予約などをTeamsに載せたエクセルシートで集約し、情報共有している。

学校から保護者への情報伝達はClassiを活用している。また、Classiのポートフォリオ機能を活用して進路面談の記録を職員間で共有し、模試成績等を保護者と共有している。

5 効果とまとめ

令和4年度の学校評価アンケート「長生高校の教員は、生徒の学力向上に向け、ICTを効果的に使用するなど、工夫した授業を実践している。」という質問に対し、88.5%の生徒が肯定的な回答をしている。



私は、生徒の学習環境さえ整えば、教員は 主体的により良い学びの方法を発見し、実践 すると確信している。本校職員には、恐れる ことなくICTを活用して積極的に新しい学び に挑戦してほしいと期待している。

今後も生徒が効率良く、効果的に学ぶ「個別最適な学び」が実現できるよう、ICT環境のより一層の整備に取り組み、学校全体で授業改善と業務改善を推進して行く。